

1986年度第4-四半期会計監査施行さる


規約第四七条にもとづき、ここに報告します。

1987年8月21日


国鉄千葉動力車労働組合

執行委員長 中野 洋 殿

国鉄千葉動力車労働組合

会計監査員 渡辺 直 

会計監査員 山口 喜一郎 

会計監査員 村田 茂雄 

会計監査報告書

1986年度第4-四半期会計監査は、規約第47条の定めるところにより会計監査を実施した結果、金銭、帳簿に不正にもとづく事実のないことを確認し下記のとおり報告します。

記

- 1. 監査期日 1987年8月21日、22日
- 2. 監査場所 国鉄千葉動力車労働組合本部事務所
- 3. 監査項目
 - (1) 予算執行の適否
 - (2) 経費支出内容の適否
 - (3) 物品購入価格および方法の適否
 - (4) 消耗品使用の適否
 - (5) 財産および備品管理の適否
 - (6) 現金および預金の確認
 - (7) その他必要と認める事項
- 4. 確認事項 1987年8月21日現在の預金、現金、証券類の確認
- 5. 意見
 - 1. 組合費および臨時組合費の納入状況はおおむね良好であった。
 - 2. 動労千葉共済掛金納入状況は良好であった。
 - 3. 動労千葉共済給付状況はおおむね良好であったが、退職給付の多くが4月に入ってから給付されている状況が見受けられた。

- 4. 組合基金の納入ならびに保管状況は良好であった。
- 5. 闘争資金の収支については総体としては予算どおりであるが、法廷対策費が予算をおおきく超過していることが指摘される。
- 6. 第2闘争資金についてはベ・アの低額が原因し臨時徴収金が約一千万円の収入減となった。支出についてはほぼ予算内で決算された。
- 7. その他の特別会計については良好であった。
- 8. 現金、預金、および有価証券と関係帳表との照合については異常を認めなかった。
- 10. 貸借対照表、収支計算書、財産目録、その他関係諸表については異常を認めなかった。
- 11. 帳簿類および領収書の整理は良好であった。
- 12. 一般会計の予算執行状況について
 - ① 収入の部では、雑収入が予算対比69,8%であったが、納入組合費が予算対比 100,9 %を維持したため総体としては予算対比100,3 %となった。
 - ② 支出の部では、事務費103 %、庶務費112 %、社会費102,9 %と若干予算を超過したが総体として本部費は予算対比 94,9 %で決算された。なを地方費は諸交付金の増により予算対比 120,8%となった
- 13. 備品管理についてはおおむね良好であった。

総括意見

1986年度第4-四半期会計監査は、規約第47条の定めるところにより会計監査を実施した結果、不正にもとづく事実のなかったことを証明します。多くの不当処分者を抱えながら、国鉄労働運動解体攻撃、差別配転・出向攻撃に対決し闘い抜くために財政基盤の確立は急務である。

国鉄分割・民営化後の情勢の変化ならびに動労総連合結成後の運動の展開など支出増要素のあるところであるが、極力節減をはかるよう努力されたい。

以上



87. 9 7

No. 2648

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六)(公衆)〇四七二二七二〇七